

2018(平成30)年度事業報告書 及び附属明細書

自 2018(平成30)年4月 1日

至 2019(平成31)年3月31日

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2

公益財団法人 日 本 音 楽 財 団

目次

| | | |
|--------|--------------------------------|----|
| I | 概 要 | 1 |
| II | 公益目的事業 「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」 | 2 |
| | 1. 楽器の保全 | 2 |
| | 2. 楽器の貸与 | 2 |
| | 3. 演奏会の開催 | 8 |
| | 4. 音楽文化振興・普及のための助成 | 15 |
| | 5. 広報活動 | 17 |
| III | 総 務 | 19 |
| | 1. 役員の異動 | 19 |
| | 2. 理事会 | 19 |
| | 3. 評議員会 | 20 |
| | 4. 監事会 | 20 |
| | 5. 登記事項 | 20 |
| | 6. 主務大臣(内閣府)への届出等 | 20 |
| | 7. 外部監査の実施 | 21 |
| | 8. 事務局 | 21 |
| [巻末別紙] | | |
| | 1. 理事・監事・評議員名簿 | 22 |
| | 2. 委員名簿 | 23 |
| | 3. 財団保有楽器の概要 | 24 |
| | 4. 楽器名と被貸与者一覧 | 29 |
| | 5. 楽器貸与区分及び申請条件等一覧 | 30 |

I 概 要

日本音楽財団は、1974年3月に音楽文化の振興と普及に寄与することを目的として設立され、2012年4月に公益財団法人となってからは、公益目的事業「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」の下に、1.楽器の保全、2.楽器の貸与、3.演奏会の開催、4.音楽文化振興・普及のための助成という4つの柱を置いて事業を推進している。

2019年3月末現在、アントニオ・ストラディヴァリ(ヴァイオリン15挺、チェロ3挺、ヴィオラ1挺)、ガールネリ・デル・ジェス(ヴァイオリン2挺)によって製作された弦楽器を21挺保有している。

本年度の事業は、日本財団の助成金等を受けて下記のとおり実施した。

1. 楽器の保全

(1) 楽器の保守管理

当財団の指定楽器商で定期保守を実施した。また、楽器保全規程においては、楽器保守についての記載がなかったため、2018年9月開催の理事会で規程の改正を行った。

(2) 楽器保険の付保

保有する21挺の弦楽器には、万が一の事故に備え、日本の保険会社2社に楽器保険を付保した。

(3) ATA カルネ

国外へ持ち出す楽器には、外国の税関で免税扱いの一時輸入通関ができるATAカルネを使用している。

(4) 楽器の故事来歴の取りまとめ

保有する弦楽器21挺について故事来歴等を調べ、財団ホームページに掲載した。

2. 楽器の貸与

2018年9月に楽器貸与規程、楽器貸与に係わる達の改正を行い、貸与区分をA、B、C、Dの4つに分け、貸与期間、貸与楽器配分の目安を割合で数値化し、年齢、活動拠点、貸与の目的など区分によって申請条件を定めた。この改正により、現在7年以上貸与している演奏家については、順次、計画性をもって返却時期を相談していくこととした。

本年度の楽器貸与委員会は、11月に東京で開催し、申請のあった貸与申請者について審議し、被貸与者を決定した。

3. 演奏会の開催

本年度は、①演奏会の定期開催、②新しいファン層の拡大、③楽器貸与事業の周知広報の3つの柱の下に10公演を実施した。また、日本財団との共同事業として、被貸与者等による演奏会をスイス・ジュネーヴ及び横浜で開催した。

4. 音楽文化振興・普及のための助成

事業運営委員会で採択された9事業に支援した。

Ⅱ 公益目的事業

「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」

1. 楽器の保全

(1) 楽器の保守管理

保有する 21 挺の楽器の修理、調整等については、ストラディヴァリウス等の名器の取扱いに慣れている楽器商を指定し実施している。各被貸与者には、年 4 回の当財団指定楽器商での定期保守を義務付け、それらにかかる費用は、当財団が全て負担している。また、同じ目で楽器を見る必要があるという観点から年 4 回の内の 1 回は、英国在住の当財団楽器アドバイザーであるアンドリュー・ヒル(Andrew Hill)氏による楽器のチェックを受けている。楽器の修理・調整に関する記録は全て保管し、楽器の状態把握に努めている。

保有する楽器は製作後約 300 年が経過し、大規模な修理が必要な楽器がでてきており、これに対応するために特定費用準備資金(大規模楽器修理)を積立てている。本年度は定期保守のみで大規模修理が必要な楽器はなかった。

(2) 楽器保険の付保

楽器保険については、楽器管理者として当財団が全額を支払っている。本年度も東京海上日動火災保険㈱と三井住友海上火災保険㈱の 2 社に楽器保険を付保した。

(3) ATA カルネ*

被貸与者等が保有楽器を国外へ持ち出す際には、ATA カルネを使用して通関させている。ATA カルネを使用して通関できない国への楽器の持ち込みを禁止している。

*「物品の一時輸入のための通関手帳に関する条約(ATA 条約)」に基づく一時免税通関手帳。

国外へ一時的に物品を持ち込む場合、税関で手軽に「免税扱いの一時輸入通関」ができるほか、外国への輸入税の支払や保証金が不要となる。

(4) 楽器の故事来歴の取りまとめ

保有楽器 21 挺の故事来歴等をまとめ、楽器写真とともにホームページに掲載し、保有楽器について広報した。

2. 楽器の貸与

当財団は、保有する弦楽器を若手有望演奏家や国際的に活躍する演奏家に国籍を問わず無償で貸与する楽器貸与事業を実施している。

楽器貸与については、財団のホームページ等で応募方法を告知し、貸与申請を受け付けている。楽器の貸与先は、欧・米・アジアの代表で構成される楽器貸与委員会の選考結果に基づき決定するほか、1997 年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールのヴァイオリン部門優勝者に副賞として次期コンクールまでの間、楽器を貸与している。また、デビュー公演、周年記念公演、レコーディング等の具体的な演奏活動の目的がある演奏家への貸与も行っている。

楽器の貸与期間が長期になっている被貸与者が多くなっていることに対応するために、楽器貸与規程及び楽器貸与に係わる達を改正した。貸与区分は、今までの①貸与期間 6 ヶ月以上の長期貸与、②貸与期間 6 ヶ月未満の短期貸与、③貸与期間 1 週間未満の貸与、④エリザベート王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝者への貸与

の4区分から、以下の貸与区分AからDに改正した。また、貸与期間、貸与楽器配分の目安、年齢制限などの申請条件、そのほか貸与決定方法などの具体的な運用についても定めた。

貸与区分A 最長満7年以内の貸与

貸与区分B 日本を拠点に演奏活動している演奏家対象、満3年以内の貸与

貸与区分C デビュー公演、周年記念公演等、具体的な演奏活動の目的がある演奏家への満1年未満の貸与

貸与区分D エリザベート王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝者への貸与

貸与区分及び申請条件等の詳細については、巻末別紙5のとおり。

なお、既に貸与期間の上限7年を超えている被貸与者については、演奏活動に支障が出ないように相談の上、楽器の返却時期を決めることにした。

(1) 楽器貸与委員会

本年度は、下記のとおり実施した。

| | |
|--------|---------------------------------|
| 開催日 | 2018年11月5日(月) 15:00~17:50 |
| 場所 | 明治記念会館「紅梅の間」(東京都港区元赤坂 2-2-23) |
| 楽器貸与委員 | 巻末別紙2のとおり |
| 財団保有楽器 | 巻末別紙3のとおり |
| 審議事項 | 現在の貸与状況及び貸与更新について 新規貸与申請について |

会議結果

① 貸与更新承認(13名)

Veronika Eberle(vn)、Suyoen Kim(vn)、Svetlin Roussev(vn)、諏訪内晶子(vn)、Ray Chen(vn)、Arabella Miho Steinbacher(vn)、Alina Pogostkina(vn)、五嶋龍(vn)、Yuki Manuela Janke(vn)、Sergey Khachatryan(vn)、Benjamin Beilman(vn)、Pablo Ferrández(vc)、石坂団十郎(vc)

② 新規貸与(1名)

ヴァイオリン6名、チェロ1名、クアルテット8組より楽器貸与申請があったが、審議の結果、Ji Young Lim(ヴァイオリン)に対して貸与することが合意された。また、Limは、2015年エリザベート王妃国際コンクールの優勝者であり、コンクールの副賞としてStradivarius 1708年製 Violin “Huggins”を既に4年間貸与していることから、今回の貸与期間が3年になることも合意された。

チェロの申請者は、基準に達していないとの理由により貸与しないことが決議された。クアルテットの申請者(団体)については、より厳密な審査を次年度の委員会で行うことで合意した。

(2) 楽器の貸与状況

本年度における保有楽器21挺の貸与状況は下記及び巻末別紙4のとおり。各被貸与者から財団へ報告された演奏会数は、年間合計714回、聴衆合計約809,500名となっている。

①～④ Stradivarius “Paganini Quartet”

被貸与者 Quartetto di Cremona
1680年製 Violin Paolo Andreoli(イタリア・ジェノヴァ在住)
1727年製 Violin Cristiano Gualco(イタリア・ジェノヴァ在住)
1731年製 Viola Simone Gramaglia(イタリア・ボグリアスコ在住)
1736年製 Cello Giovanni Scaglione(イタリア・ジェノヴァ在住)

貸与推薦者 Lawrence Dutton(ヴァイオリニスト)
Riccardo Chailly(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 20回(聴衆約 9,500名)
2017年9月25日より貸与していたが、2017年の貸与委員会の承認を得て2018年10月31日まで貸与契約を結んだ。その後、貸与の延長申請があり2018年12月12日まで延ばした。(貸与期間1年3ヶ月)。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑤ Stradivarius 1700年製 Violin “Dragonetti”

被貸与者 Veronika Eberle(ドイツ・ベルリン在住)
貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)
Sir Simon Rattle(指揮者)
内田光子(ピアニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 71回(聴衆約 76,000名)
2009年5月11日より貸与しており、2019年8月31日まで(貸与期間10年4ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑥ Stradivarius 1702年製 Violin “Lord Newlands”

被貸与者 Suyoen Kim(ドイツ・ベルリン在住)
貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)
Jan Latham-Koenig(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 25回(聴衆約 30,000名)
2015年1月20日より貸与しており、2019年8月31日まで(貸与期間4年8ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑦ Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”

被貸与者 Ji Young Lim(ドイツ・ベルリン在住)
当該楽器を使用しての演奏 合計 16回(聴衆約 9,000名)
同氏は2015年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールの優勝者であり、副賞として2015年6月2日より2019年3月28日まで当該楽器を貸与した(貸与期間3年10ヶ月)。当該楽器は、2019年5月に当該コンクール優勝者に次期コンクール開催までの約4年間貸与する予定である。

⑧ Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”

被貸与者 Benjamin Beilman(米国・フィラデルフィア在住)
貸与推薦者 Kyung-Wha Chung(ヴァイオリニスト)
Jean-Philippe Rolland(ワーナークラシック副社長)

当該楽器を使用しての演奏 合計 72回(聴衆約 66,800名)

同氏は、2016年の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、2016年12月7日より貸与を開始し、2019年8月31日まで(貸与期間2年9ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会並びに助成事業(後述)に出演した。

⑨ Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”

被貸与者 Svetlin Roussev(フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Myung-Whun Chung(指揮者)

Kyung-Wha Chung(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計97回(聴衆約121,500名)

2012年1月15日よりStradivarius 1715年製 Violin “Joachim”を貸与したが、2012年2月8日より当該楽器を貸与し、2019年8月31日まで(貸与期間7年7ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑩ Stradivarius 1714年製 Violin “Dolphin”

被貸与者 諏訪内晶子(フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Charles Dutoit(指揮者)

徳永二男(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計45回(聴衆約56,000名)

2000年8月11日より貸与しており、2019年8月31日まで(貸与期間19年)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑪ Stradivarius 1715年製 Violin “Joachim”

被貸与者 Ray Chen(米国・フィラデルフィア在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計54回(聴衆約75,000名)

同氏は2009年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、副賞として2009年6月2日から2010年9月8日までの間(貸与期間1年3ヶ月)Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”を貸与したが、他団体からも楽器貸与を受けていたため、その期間は楽器を返却した。その後、他団体からの貸与が終了したため、2012年4月11日よりStradivarius 1702年製 Violin “Lord Newlands”(貸与期間2年2か月)、2014年6月19日に当該楽器に変更した。2019年8月31日まで(貸与期間計5年3ヶ月、通算貸与期間計8年8ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑫ Stradivarius 1716年製 Violin “Booth”

被貸与者 Arabella Miho Steinbacher(ドイツ・ミュンヘン在住)

貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)

Anne-Sophie Mutter(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計57回(聴衆約87,300名)

2005年5月6日より1736年製 Stradivarius Violin “Muntz”を貸与していたが、2006年9月4日より当該楽器に変更した。2019年8月31日まで(貸与期間13年、通算期間計14年4ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑬ Stradivarius 1717年製 Violin “Sasserno”

1) 被貸与者 Alina Pogostkina(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Sakari Oramo(指揮者)
Thomas Hengelbrock(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 8 回(聴衆約 6,000 名)

2013 年 2 月 28 日より貸与を開始し、2019 年 8 月 31 日まで(出産のため 2015 年 5 月から 11 月まで 7 ヶ月休業中は一時楽器を返却した)貸与契約を結んだが、本人より貸与終了の申し出があり、2019 年 2 月 25 日で貸与を終了した(貸与期間計 4 年 5 ヶ月)。

2) 被貸与者 Ji Young Lim(ドイツ・ベルリン在住)

同氏は 2015 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールの優勝者であり、副賞として Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を 2005 年 6 月 2 日より貸与(3 年 10 ヶ月)していたが、本年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A の貸与が承認され、当該楽器を 2019 年 3 月 28 日より貸与した(2022 年 6 月 1 日まで貸与予定)。

⑭ Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”

被貸与者 五嶋 龍(米国・ニューヨーク在住)

貸与推薦者 今井信子(ヴァイオリスト)

Michael Dussek(ピアニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 27 回(聴衆約 37,800 名)

2013 年 3 月 7 日より短期貸与を開始し、2013 年開催の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認された。2019 年 8 月 31 日まで(貸与期間 6 年 6 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑮ Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”

1) 被貸与者 Radoslaw Szulc(ドイツ・ミュンヘン在住)

貸与推薦者 Mariss Jansons(指揮者)

Julia Fischer(ヴァイオリニスト、フランクフルト音楽大学教授)

貸与期間 2017 年 12 月 17 日～2018 年 6 月 16 日 短期貸与

2018 年 6 月 17 日～2018 年 11 月 27 日 短期貸与

当該楽器を使用しての演奏 合計 5 回(聴衆約 5,000 名)

2) 被貸与者 加野景子(アメリカ・ニューヨーク在住)

貸与推薦者 Glenn Dicterow(ヴァイオリニスト)

Eugene Drucker(エマーソン弦楽四重奏団ヴァイオリニスト)

貸与期間 2018 年 11 月 27 日～2019 年 7 月 31 日 貸与区分 C

当該楽器を使用しての演奏 合計 4 回(聴衆約 2,500 名)

⑯ Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh”

当該楽器の購入資金の寄付者が日本在住であるため、しばらくは日本での演奏活動をする演奏家に貸与することが 2017 年度の楽器貸与委員会で承認されている。

被貸与者 竹澤恭子(フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Charles Dutoit(指揮者)

David Zinman(指揮者)

貸与期間 2018 年 8 月 27 日～2019 年 8 月 26 日 貸与区分 C

当該楽器を使用しての演奏 合計 19 回(聴衆約 14,500 名)

デビュー30周年記念企画演奏会のために貸与した。同氏には2005年3月7日から2010年3月5日までの約5年間 Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”を貸与していた。当財団の演奏会並びに助成事業(後述)に出演した。

⑰ Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”

被貸与者 Yuki Manuela Janke(ドイツ・ドレスデン在住)

貸与推薦者 外山雄三(指揮者、作曲家)

Julia Fischer(ヴァイオリニスト、フランクフルト音楽大学教授)

当該楽器を使用しての演奏 合計28回(聴衆約13,000名)

2007年11月3日より貸与しており、2019年8月31日まで(貸与期間11年10ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会並びに助成事業(後述)に出演した。

⑱ Stradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”

被貸与者 Pablo Ferrández(スペイン・トレドネス在住)

貸与推薦者 Frans Helmerson(チェリスト)

Luis Claret(チェリスト)

Paloma O'Shea(ソフィア王妃高等音楽院学長)

当該楽器を使用しての演奏 合計68回(聴衆約115,500名)

2014年1月17日より貸与しており、2019年8月31日まで(貸与期間5年8ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑲ Stradivarius 1730年製 Cello “Feuermann”

被貸与者 石坂団十郎(ドイツ・ヴェルダー;ハーヴェル在住)

貸与推薦者 Daniel Barenboim(ピアニスト、指揮者)

Krzysztof Penderecki(作曲家、指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計47回(聴衆約30,000名)

2004年1月29日より Stradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”を貸与していたが、2014年1月10日より当該楽器に変更した。2019年1月10日で(貸与期間5年、通算期間14年11ヶ月)貸与を終了した。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑳ Guarneri del Gesu 1736年製 Violin “Muntz”

被貸与者 渡辺玲子(東京在住)

貸与推薦者 原田幸一郎(ヴァイオリニスト)

徳永二男(ヴァイオリニスト)

貸与期間 2018年4月1日～2018年9月30日 短期貸与

2018年10月1日～2019年7月8日 貸与区分C

当該楽器を使用しての演奏 合計20回(聴衆約8,300名)

当財団の演奏会(後述)に出演した。

㉑ Guarneri del Gesu 1740年製 Violin “Ysaye”

被貸与者 Sergey Khachatryan(ドイツ・エッシュボルン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計31回(聴衆約45,800名)

同氏は2005年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、2005

年5月31日より2009年4月7日まで Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を貸与(3年10ヶ月)した。引き続きの貸与の申請があり、Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”を2009年4月7日より貸与。その後、2010年10月27日より当該楽器へ変更し2019年8月31日まで(貸与期間8年10ヶ月、通算貸与期間14年3ヶ月)貸与契約を結んだ。

3. 演奏会の開催

本年度は日本財団の助成事業として次の3つの目的別に10公演を実施したほか、日本財団支援事業として「海外演奏会」と「海の日コンサート」を共同で開催した。

演奏会の実録CDを作成し、関係者へ配布するとともにクラシック音楽専門チャンネル等で放送し事業の周知に努めた。

日本財団助成事業

(1)～(5)演奏会の定期開催

演奏会の集客力を高めるための有効な方法の一つとして、演奏会の定期開催を2017年度より開始した。毎年同じ会場、同じ時期に定期的で開催し、クラシック音楽ファンに予め開催の告知することで集客力が期待できる。本年度も当財団の認知度とブランド力を定着させるとともに、開催地における音楽文化の振興・普及に努めた。

(1)浦安市との共同コンサート

首都圏での演奏会開催を目指す一環として、2017年度より浦安市との共同事業として開始した。2016年12月に浦安市との協定を締結し、双方が保有する音楽資源を有効に活用し、演奏会を定期的に継続して開催できる環境を整えた。

| | |
|--------|--|
| 名 称 | スヴェトリン・ルセフ ヴァイオリン・リサイタル 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol.2 |
| 日 程 | 2018年4月18日(水) 19:00 開演 |
| 会 場 | 浦安音楽ホール(千葉県浦安市) (303席) |
| 主 催 | (公財)日本音楽財団、浦安市 |
| 共 催 | 浦安音楽ホール |
| 助 成 | (公財)日本財団、(公財)朝日新聞文化財団 |
| 出 演 | Svetlin Roussev Stradivarius 1710 Violin "Camposelice" 使用 上田晴子 ピアノ |
| 曲 目 | ドビュッシー:ヴァイオリンソナタ ト短調 ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第3番 ニ短調作品108 ラヴェル:ヴァイオリン・ソナタ第2番 ト長調 サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調作品28 ラヴェル:ツィガーンヌ チャイコフスキー/ミッシェル・エルマン編: ただ憧れを知る者だけが 作品6-6(アンコール) |
| チケット販売 | 全席 6,000円 |
| 寄付額 | 852,000円(チケット売上6,000円×142枚) チケット売上全額が「浦安市文化芸術振興基金」に積立てられ市民の文化芸術活動の普及振興に使われる。 |

来場者 139名

(2)～(5)名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業

日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 4～6

東海地方を代表するオーケストラである名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同で定期的な演奏会を開催することで、東海地方での当財団の活動周知を推進し、音楽文化の振興普及に努めた。2017年度より開始した本事業では、当財団被貸与者が毎年同時期に「ストラディヴァリウス月間」と称し、数ヶ月にわたり4公演を名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演した。当財団は、ストラディヴァリウス被貸与者の出演料と旅費等を経費負担した。本年度は下記のとおり実施した。(4公演で281名の学生を招待した)

(2) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 4
「ロード・ニューランズ&フォイアマン」
第 65 回市民会館名曲シリーズ<ベートーヴェン・ツィクルス X>

日 程 2019 年 1 月 10 日(木) 18:45 開演

会 場 日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知県名古屋市)(2,291 席)

主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団

特別協力 (公財)日本音楽財団

助 成 (公財)日本財団
文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・
独立行政法人日本芸術文化振興会

後 援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、
(公財)名古屋市文化振興事業団、中日新聞社、CBC テレビ

指 揮 小泉 和裕(名古屋フィルハーモニー交響楽団音楽監督)

出 演 Suyoen Kim Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands”使用
石坂 団十郎 Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”使用
田村 響 ピアノ

曲 目 ベートーヴェン:ヴァイオリン、チェロとピアノのための三重協奏曲
ハ長調 作品 56
ベートーヴェン:交響曲第 5 番 ハ短調 作品 67「運命」

来場者数 1,592 名 うち学生招待 6 名

(3)(4) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 5「ドラゴネッティ」
第 465 回定期演奏会 <レム『ソラリス』>

日 程 2019 年 2 月 22 日(金) 18:45 開演
2019 年 2 月 23 日(土) 16:00 開演

会 場 愛知県芸術劇場コンサートホール(愛知県名古屋市)(1,800 席)

主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団

特別協力 (公財)日本音楽財団

助 成 (公財)日本財団
文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・
独立行政法人日本芸術文化振興会

後 援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、

(公財)名古屋市文化振興事業団、朝日新聞社、メ〜テレ
 特別協賛 三井不動産リアルティ株式会社
 指揮 アンтони・ヴィット(Antoni Wit)
 出演 Veronika Eberle Stradivarius 1700 Violin “Dragonetti”使用
 曲目 藤倉大:「ソラリス」組曲(日本初演)
 ドヴォルザーク:ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品 53
 チャイコフスキー:交響曲第 5 番 ホ短調 作品 64
 来場者数 1,279 名 うち学生招待 135 名(2/22)
 1,596 名 うち学生招待 106 名(2/23)

(5) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 6 「エンゲルマン」
 平日午後のオーケストラ Vol.3
 日 程 2019 年 3 月 13 日(水) 14:00 開演
 会 場 日本特殊陶業市民会館フォレストホール(名古屋市) (2,291 席)
 主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
 特別協力 (公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・
 独立行政法人日本芸術文化振興会
 後 援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、
 (公財)名古屋市文化振興事業団、中日新聞社、中京テレビ放送
 指揮 円光寺 雅彦(名古屋フィルハーモニー交響楽団正指揮者)
 出演 Benjamin Beilman Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用
 曲目 シベリウス:交響詩「フィンランディア」作品 26
 シベリウス:ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品 47
 チャイコフスキー:交響曲第 6 番 ロ短調 作品 74 「悲愴」
 来場者数 1,224 名 うち学生招待 34 名

(6)～(7)新しいファン層の拡大

「青少年のためのレクチャーコンサート」

クラシック音楽を聴く機会が少ない学生を対象に、演奏家による聴きどころの説明を交えたコンサートを2011年より実施している。本年度は、下記のとおり2公演開催した。原則として教育委員会の正規事業と位置づけることを条件とすることで、より一層、開催地の行政機関との協力関係が強化できたほか、クラシックファンの若年齢層拡大が推進できた。

(6)北九州市におけるレクチャーコンサート

名 称 青少年のためのレクチャーコンサート 「音楽における愛のかたち」
 日 程 2018 年 12 月 13 日(木) 14:15 開演
 会 場 北九州市立響ホール(福岡県北九州市) (700 席)
 主 催 (公財)日本音楽財団、北九州市、
 (公財)北九州市芸術文化振興財団
 助 成 (公財)日本財団
 出 演 渡辺 玲子 Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz”使用

| | | |
|-------|--------------------------------------|-----------------------|
| | 江口 玲 | ピアノ |
| 曲 目 | モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ ホ短調 K.304 第 1 楽章 | |
| | ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第 5 番 | |
| | | へ長調 作品 24 「春」 第 1 楽章 |
| | バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第 2 番 | |
| | | ニ短調 BWV1004 から「シャコンヌ」 |
| | ヤナーチェク:ヴァイオリン・ソナタ 第 2 楽章、第 4 楽章 | |
| | チャイコフスキー:「懐かしい土地の思い出」作品 42 から「メロディー」 | |
| | クライスラー:ウィーン奇想曲 | |
| | クライスラー:愛の喜び、愛の悲しみ | |
| | サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン | |
| 対 象 | 小学校高学年(4年生以上) | |
| 来場者数 | 492名(招待) | |
| CD 配布 | CD を作成し出席した学生等に配布した。 | |

(7) 浦安市におけるレクチャーコンサート

| | | |
|-------|---|---|
| 名 称 | 青少年のためのレクチャーコンサート「音楽における愛のかたち」 | |
| 日 程 | 2019年2月6日(水) 15:00 開演 | |
| 会 場 | 浦安音楽ホール(千葉県浦安市) (303席) | |
| 共 催 | 浦安音楽ホール | |
| 主 催 | 浦安市教育委員会、(公財)日本音楽財団 | |
| 助 成 | (公財)日本財団 | |
| 出 演 | 渡辺 玲子 | Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz”使用 |
| | 江口 玲 | ピアノ |
| 曲 目 | 上記北九州市でのレクチャーコンサートと同じ | |
| 対 象 | 小学生、中学生(学校のオーケストラや吹奏楽部に所属) | |
| 来場者数 | 165名(招待) | |
| CD 配布 | 出席した学生等に公演と同様のプログラムの CD を配布した | |
| | ※浦安市と当財団の協定締結(2016年12月)に基づき開催。今年度は2回目となる。 | |

(8)～(10) 楽器貸与事業の周知広報

楽器貸与事業の周知と広報を目的に、政財界のオピニオンリーダー等有識者を対象とした演奏会を3公演開催した。

| | | |
|---------|--------------------------------------|---|
| (8) 名 称 | スヴェトリン・ルセフ ヴァイオリン・リサイタル | |
| 日 程 | 2018年4月17日(火) レセプション 18:00 演奏会 19:00 | |
| 会 場 | 浜離宮朝日ホール(東京) (550席) | |
| 主 催 | (公財)日本音楽財団 | |
| 助 成 | (公財)日本財団 | |
| 出 演 | Svetlin Roussev | Stradivarius 1710 Violin “Camposelice” 使用 |
| | 上田 晴子 | ピアノ |
| 曲 目 | ドビュッシー:ヴァイオリン・ソナタ ト短調 | |
| | ラヴェル:ヴァイオリン・ソナタ第2番 ト長調 | |

サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 作品 28
ラヴェル:ツィガーヌ

来場者数 474 名(招待)

- (9) 名 称 クレモナ・クアルテット&小菅 優
日 程 2018 年 7 月 2 日(月) 19:00 開演
会 場 浜離宮朝日ホール(東京) (550 席)
主 催 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
出 演 Quartetto di Cremona Stradivarius “Paganini Quartet”使用
Cristiano Gualco Stradivarius 1727 Violin “Paganini”使用
Paolo Andreoli Stradivarius 1680 Violin “Paganini”使用
Simone Gramaglia Stradivarius 1731 Viola “Paganini”使用
Giovanni Scaglione Stradivarius 1736 Cello “Paganini”使用
小菅 優 ピアノ
曲 目 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第 8 番 ホ短調 作品 59-2
シューマン:ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品 44
来場者数 468 名(招待)

- (10) 名 称 ストラディヴァリウス 1735 年製「サマズィユ」で聴く
竹澤恭子&江口玲デュオ・リサイタル
日 程 2019 年 3 月 5 日(火) 19:00 開演
会 場 王子ホール(東京) (300 席)
主 催 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
出 演 竹澤 恭子 Stradivarius 1735 Violin “Samazeuilh” 使用
江口 玲 ピアノ
曲 目 ブロツホ:バール・シェム
ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第 9 番 イ長調 作品 47「クロイツェル」
ワーグナー:ロマンツァ
クライスラー:愛の悲しみ、愛の喜び
フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調
チケット販売 全席 6,000 円
チケット売上金の全額は、2018 年 6 月から 7 月に発生した西日本豪雨
で被災した岡山県倉敷市真備町「マービーふれあいセンター」の再建に
充てられる。
寄付先 岡山県倉敷市
寄付額 934,016 円(チケット売上全額 6,000 円×136 枚、Makuake のクラウドファ
ンディング 25,800 円、当日の募金等 92,216 円)
来場者数 305 名(販売 133 名、招待 172 名)

(11)、(12) 日本財団との共同事業

日本財団との共同で、国内外でのコンサートを下記のとおり開催した。当財団は楽器被

貸与者等の出演に関連した業務を担当した。

(11) 日本財団との共同事業 1

1948年に「世界人権宣言」が国連で採決されてから70周年を迎えることを記念し、下記の演奏会を日本財団との共同で開催した。

- ① 名称 世界人権宣言70周年記念「ストラディヴァリウス・コンサート2018」
Encounter with Stradivari 2018 “In commemoration of the 70th anniversary of the Universal Declaration of Human Rights”
- 日程 2018年6月16日(土) 18:30開演
- 会場 国際連合欧州本部 Palais des Nations, Assembly Hall(スイス・ジュネーヴ)
- 主催 (公財)日本財団、国連人権高等弁務官事務所(OHCHR)
- 協力 (公財)日本音楽財団
- 出演 楽器被貸与者7名とピアニスト1名
- | | |
|---------------------------|--|
| Quartetto di Cremona | Stradivarius “Paganini Quartet”使用 |
| Cristiano Gualco | Stradivarius 1727 Violin “Paganini”使用 |
| Paolo Andreoli | Stradivarius 1680 Violin “Paganini”使用 |
| Simone Gramaglia | Stradivarius 1731 Viola “Paganini”使用 |
| Giovanni Scaglione | Stradivarius 1736 Cello “Paganini”使用 |
| Svetlin Roussev | Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”使用 |
| 諏訪内 晶子 | Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”使用 |
| Arabella Miho Steinbacher | Stradivarius 1716 Violin “Booth”使用 |
| 占部 由美子 | ピアノ |
- 曲目 ルクレール:2つのヴァイオリンのためのソナタ 第2番イ長調作品3-2
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第8番ホ短調作品59-2 第2楽章、第4楽章
サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調作品28
モシュコフスキ:2つのヴァイオリンとピアノのための組曲 作品71より4楽章
ヴラディゲロフ:ピアノとヴァイオリンのための「歌」作品21
サラサーテ:2つのヴァイオリンとピアノのための「ナバラ」作品33
ショーソン:ヴァイオリンとピアノと弦楽四重奏のための協奏曲
ニ長調 作品21より 第2楽章
レオナード:スペイン風ユーモレスク・セレナーデ
- 来場者数 1,212名(登録申込者招待)
- ② 名称 ストラディヴァリウス・コンサート “Encounter with Stradivari”
- 日程 2018年6月14日(木)19:30～20:20
- 会場 日本大使公邸(スイス・ジュネーヴ)
- 主催 (公財)日本財団
- 協力 (公財)日本音楽財団
- 出演 楽器被貸与者6とピアニスト1名
- | | |
|----------------------|---------------------------------------|
| Quartetto di Cremona | Stradivarius “Paganini Quartet”使用 |
| Cristiano Gualco | Stradivarius 1727 Violin “Paganini”使用 |
| Paolo Andreoli | Stradivarius 1680 Violin “Paganini”使用 |

| | | |
|------|------------------------------------|--------------------------------------|
| | Simone Gramaglia | Stradivarius 1731 Viola “Paganini”使用 |
| | Giovanni Scaglione | Stradivarius 1736 Cello “Paganini”使用 |
| | 諏訪内 晶子 | Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”使用 |
| | Arabella Miho Steinbacher | Stradivarius 1716 Violin “Booth”使用 |
| | 占部 由美子 | ピアノ |
| 曲 目 | ハイドン:弦楽四重奏曲 第 81 番 ト長調 作品 77-1 | |
| | マスネ:タイスの「瞑想曲」 | |
| | サン＝サーンス:「ワルツ形式の練習曲による奇想曲」作品 52-6 | |
| | サラサーテ:2 つのヴァイオリンとピアノのための「ナバラ」作品 33 | |
| 来場者数 | 30 名(招待) | |

(12) 日本財団との共同事業 2

本事業は南沢基金からの日本財団に対する寄付により開催された。寄付者の意向により、「タイタニック号」音楽隊のヴァイオリンと関連付けて日本財団の「海の日」の関連事業として実施された。

「海」をテーマとした講演と演奏会を「飛鳥II」クルーズ船上にて開催し、次世代を担う若い聴衆がタイタニック船上ヴァイオリニストにまつわる話と上質の弦楽クラシック音楽に触れる機会を提供した。タイタニック号が沈む直前まで乗客を勇気付けようとヴァイオリンの演奏を続けたタイタニック号音楽隊の話と合わせて、船上で実際に演奏されたとされる曲目を含むプログラムをタイタニック号に音楽隊のメンバーとして乗船していたヴァイオリニストのジョック・ヒューム氏に縁のある楽器と当財団保有のストラディヴァリウスの両方の音色で聴いてもらうことで、参加した青少年たちにクラシック音楽を楽しむ機会を提供しクラシック音楽をより身近に感じてもらう演奏会となった。

| | | |
|-----|---------------------------------------|------------------------------------|
| 名 称 | 海と日本 PROJECT | |
| | 飛鳥II 船上ヴァイオリン演奏会 | |
| 日 程 | 2018 年 7 月 23 日(月) | |
| | ワード氏による講演 12:55～ 演奏会 13:05 開演 | |
| 会 場 | 横浜港寄港中「飛鳥 II」船内ギャラクシーラウンジ(神奈川県横浜港寄港) | |
| 主 催 | (公財)日本財団、(公財)日本音楽財団 | |
| 協 賛 | 郵船クルーズ株式会社 | |
| 出 演 | Christopher Ward | タイタニック号音楽隊末裔/元 WWFUK 会長* |
| | Yuki Manuela Janke | Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用 |
| | | Andrew Hume 1913 Violin “Hume”使用** |
| | 林 絵里 | ピアノ |
| 曲 目 | Andrew Hume 1913 Violin “Hume”による演奏 | |
| | サラ・アダムス:主よ御許に近づかん | |
| | 大中寅二:椰子の実 | |
| | バッハ:G 線上のアリア | |
| | Stradivarius 1736 Violin “Muntz”による演奏 | |
| | モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジークより第 1 楽章 | |
| | ドヴォルザーク:ユーモレスク | |
| | クライスラー:中国の太鼓 | |

マスネ:タイスの「瞑想曲」
サラサーテ:サパテアード
ブラームス:ハンガリー舞曲第5番
井上武士:海(全員で合唱)

招待 横浜市中区より小学校高学年の児童とその親 69組 138名
渋谷区より小学校高学年の児童とその親 39組 78名、関係者 51名
来場者数 267名(招待)

*タイタニック号に8名の音楽隊のメンバーとして乗船していたヴァイオリニスト、ジョック・ヒューム氏の孫にあたる人物。世界自然保護基金英国支部(WWFUK)の元会長。

**当時21歳だったヒューム氏のために、ヴァイオリン製作者であった父親が製作していたヴァイオリン。タイタニック号沈没事故の為にヒューム氏生還はならず、本人が弾くことはなかった。

4. 音楽文化振興・普及のための助成

助成事業は、外部有識者で構成される事業運営委員会で決定されたテーマ(柱)に沿ってホームページで募集している。また、事業の決定については同委員会の審議を経て決定している。事業運営委員の名簿は、巻末別紙2のとおり

本年度は、昨年度同様、楽器被貸与者による財団主催の演奏会を東京以外の地域でも積極的に開催するために、それぞれの地域にあった集客ができるパートナー(共催者)を育成することを目的とする「パートナーの育成」及び若い音楽家に今後の活動に大きな自信を与える「若手の育成」を中心に募集したところ、23事業の申請があった。なお、年度初めの事業を支援できるように第1回事業運営委員会は前年度中に開催している。

2018年度事業運営委員会

第1回事業運営委員会 2018年3月27(火)14:00~16:00

上記委員会では、23件の申請の内9事業が採択された。

採択された全ての事業は当初期待した通りの事業成果、妥当な支出内容で事業を完了している。助成額合計 6,000,000円

(1) ヴィオラスペース 2018 Vol.27 第4回東京国際ヴィオラコンクール

実施団体 東京国際ヴィオラコンクール実行委員会

日程 2018年5月26日(土)~6月8日(金)

場所 上野学園石橋メモリアルホール(東京)

助成額 500,000円

(2) ARTE TOKYO 第8回定期公演

実施団体 特定非営利活動法人 ARTE MANDOLINISTICA

日程 2018年6月30日(土)

場所 第一生命ホール(東京)

助成額 500,000円

(3) 定期演奏会 みなとみらいシリーズ 341回

~100年前の横浜物語/ロシア音楽の醍醐味~

実施団体 (公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団

日程 2018年7月6日(金)、7日(土)

場所 横浜みなとみらいホール大ホール(神奈川)

助成額 500,000 円

(4)「子ども発達支援センター・さんだ」支援チャリティ・コンサート

Yuki Manuela Janke Violin Recital

実施団体 子ども発達支援センター・さんだ支援チャリティ・コンサート実行委員会

日程 2018年7月20日(金)

場所 三田市総合文化センター郷の音ホール(兵庫)

出演 Yuki Manuela Janke(当財団楽器被貸与者)

Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用

林 絵里 ピアノ

助成額 1,000,000 円

(5) Krzyzowa Music(クシショバ ミュージック室内楽ワークショップとフェスティバル)

実施団体 Krzyzowa Music クシショバ ミュージック

日程 2018年8月11日(土)～26日(日)

場所 クシショバ(ポーランド)

助成額 500,000 円相当ユーロ

(6) 東京ジュニアオーケストラソサエティ第19回定期演奏会

実施団体 特定非営利活動法人東京ジュニアオーケストラソサエティ

日程 2018年8月19日(日)

場所 文京シビックセンター大ホール(東京)

助成額 500,000 円

(7) マギーズ東京支援・がんに影響を受けたすべての人々のためのチャリティ・コンサート

実施団体 NPO 法人マギーズ東京 チャリティ・コンサート実行委員会

日程 2019年3月11日(月)

場所 東京文化会館大ホール(東京)

出演 Benjamin Beilman(当財団楽器被貸与者)

Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用

江口 玲 ピアノ

助成額 1,000,000 円

(8) MITSUKO UCHIDA AND MCO AT CARNEGIE HALL

内田光子とMCO@カーネギーホール

実施団体 Mahler Chamber Orchestra e. V.

日程 2019年3月29日(金)

場所 カーネギー・ホール(アメリカ・ニューヨーク)

助成額 1,000,000 円相当ユーロ(8,033.88 ユーロ)

(9) オーケストラの日 2019

実施団体 (公社)日本オーケストラ連盟

日程 2019年3月31日(日)

場所 東京文化会館大ホール(東京)(2,303席)

出演 オーケストラの日祝祭管弦楽団、大友 直人(指揮)

ソリスト:竹澤恭子(当財団楽器被貸与者)

Stradivarius 1735 Violin “Samazeuilh”使用

助成額 500,000 円

5. 広報活動

当財団の活動を広く周知するため、以下のような広報活動を展開している。

- (1) 財団パンフレット(日本語、英語併記)を作成し、関係する演奏会の会場などで広く一般に配布している。
- (2) ホームページ(日本語、英語)にて、財団の事業活動全般について紹介している。
- (3) 財団主催演奏会の CD、DVD を作成し、国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布している。本年度作成した CD は、以下のとおり。
 - ① Svetlin Roussev ヴァイオリン・リサイタル CD (2018年4月18日浦安収録)
 - ② Encouter with Stradivari 2018 CD&DVD (2018年6月16日ジュネーヴ収録)
 - ③ クレモナ・クアルテット&小菅優 CD (2018年7月2日東京収録)
 - ④ 渡辺玲子による青少年のためのレクチャーコンサート CD
(2018年12月18日北九州収録)
 - ⑤ 日本音楽財団、名古屋フィルハーモニー交響楽団共同コンサート CD
(2019年1月10日、2月22日、23日、3月13日名古屋収録)
 - ⑥ 竹澤恭子&江口玲デュオ・リサイタル CD (2019年3月5日東京収録)
- (4) 楽器被貸与者との間で締結している貸与契約書に以下の内容を明記し、当財団の楽器貸与事業の周知・広報に協力を得ている。
 - ① 被貸与者は、報道機関のインタビューや演奏会プログラムにおいて、貸与楽器の名称並びに当該楽器が当財団から貸与されていることの事実を周知・広報する。
 - ② 貸与楽器による演奏が、CD、DVD 等の形で制作されるときは、被貸与者は、貸与楽器の名称並びに当該楽器が当財団から貸与されていることの事実を当該制作物に明確に表示する。
 - ③ 被貸与者は、年に1度、3月末日までに前年4月からの演奏会(開催日、開催場所、演奏曲目、入場者数等)並びにCD、DVD制作に関する活動内容報告書を当財団に提出する。

楽器被貸与者が本年度中にリリースした CD は以下のとおりである。

| | |
|----------------------|---|
| Quartetto di Cremona | Stradivarius “Paganini Quartet”使用 “Schubert: String Quintet & String Quartet 'Death and the Maiden' Op. 163 (D. 956)” |
| Arabella Steinbacher | Stradivarius 1716 Violin “Booth”使用 “Richard Strauss: Violin Concerto d-minor” |
| 加野 景子 | Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj”使用 “A Manhattan Story II ~Spring~” |

- (5) 衛星デジタルラジオ局並びに衛星デジタルテレビの協力を得て、当財団主催の演奏会の実録 CD、DVD を放送し、不特定多数の方々にストラディヴァリウスの華やかな響きを楽しんでもらい、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。特に普段ストラディヴァリウスの演奏に触れる機会のない地方のクラシックファンには、大変喜ばれているとの報告を受けている。2018年度においての放送内容は下記のとおりである。
 - ① 衛星デジタルラジオ MUSICBIRD THE CLASSIC (121ch)
 - 1) 放送日:2018年6月3日(日)、6月9日(土)(再放送)
「Alina Pogstkina ヴァイオリン・リサイタル」

(浜離宮朝日ホール 2017 年 10 月 17 日収録)

出演: Alina Pogostkina(ヴァイオリン)、林絵里(ピアノ)

「Ray Chen ヴァイオリン・リサイタル」

(紀尾井ホール 2018 年 1 月 31 日収録)

出演: Ray Chen(ヴァイオリン)、林絵里(ピアノ)

2) 放送日: 2018 年 8 月 11 日(土)、8 月 18 日(土)(再放送)

「ストラディヴァリウス&名フィル共演 / ヨアヒム、ハギンス、サセルノ」

(豊田市コンサートホール 2018 年 2 月 3 日、日本特殊陶業市民会館

フォレストホール 2018 年 2 月 8 日、2 月 16 日収録)

出演: 名古屋フィルハーモニー交響楽団、

Ray Chen(ヴァイオリン)、Ji Young Lim(ヴァイオリン)、

Alina Pogostkina(ヴァイオリン)

3) 放送日: 2019 年 1 月 5 日(土)、1 月 11 日(金)(再放送)

「Svetlin Roussev ヴァイオリン・リサイタル」

(浦安音楽ホール 2018 年 4 月 18 日収録)

出演: Svetlin Roussev(ヴァイオリン)、上田晴子(ピアノ)

「クレモナ・クアルテット&小菅優」

(浜離宮朝日ホール 2018 年 7 月 2 日収録)

出演: クレモナ・クアルテット、小菅優(ピアノ)

② 衛星デジタルテレビ クラシカ・ジャパン

1) 再放送: 2018 年 9 月 25 日(火)、26 日(水)、27 日(木)、28 日(金)、
29 日(土)、30 日(日)、10 月 1 日(月)、7 日(日)

「ロリン・マゼール解説 ストラディヴァリウス 音比べ」

(米国・バージニア州 2007 年 10 月 7 日収録)

2) 再放送: 2018 年 10 月 4 日(木)、5 日(金)、6 日(土)、8 日(月)、9 日(火)、
10 日(水)、11 日(木)、20 日(土)、28 日(日)

「ストラディヴァリウス・コンサート 2016」

(サントリーホール 2016 年 9 月 13 日収録)

(6) 音楽雑誌、新聞、その他マスメディアの取材要請、財団保有楽器の写真提供要請に応え、財団の活動の周知・広報を図っている。2018 年度における主な掲載記事等の内容は以下のとおり。

① 産経デジタル ワールドニュース 2018 年 6 月 17 日付

最高峰の音色 国連に響くストラディヴァリウス 7 本

② 週刊エコノミスト 2018 年 10 月 9 日号 貸与事業について

③ The Strad Magazine Online 2019 年 1 月 31 日付 楽器貸与募集開始について

④ The Violin Channel Online 2019 年 2 月 8 日付 楽器貸与募集開始について

⑤ 毎日新聞デジタル 2018 年 12 月 18 日付 ストラディヴァリウスで真備の被災ホール支援

⑥ 朝日新聞夕刊 2019 年 2 月 23 日掲載 「竹澤恭子&江口玲デュオ・リサイタル」

III 総務

1. 役員の変動

2018年6月25日の評議員会終結をもって、塩見(江頭)和子氏、福田博氏、檜林欣也氏の3名が任期満了で理事を退任し、同日開催の評議員会において、海老沢勝二氏、加納民夫氏、門野泉氏、竹内千春氏の4名が理事に選任され就任した。

山内悦嗣監事、海老沢勝二評議員は2018年6月25日の評議員会終結をもって退任した。

2018年6月25日の理事会において、代表理事(会長)に海老沢勝二氏、業務執行理事(常務理事)に加納民夫氏が選任され、同日付で就任した。

松木康夫評議員は一身上の都合により、2018年9月13日をもって退任した。

2019年3月7日開催の評議員会にて、吉村貞彦氏が監事に選任され、同日付で就任した。

年度末現在の理事・監事・評議員の名簿は巻末別紙1のとおりである。

2. 理事会

本年度は、理事会を下記のとおり4回開催した。

2018年度第1回理事会

開催日 2018年6月7日(木) 11:00~12:40
場 所 アークヒルズクラブ(東京都港区赤坂 1-12-32)
議決事項 第1号議案 2017(平成29)年度事業報告及び決算について
第2号議案 任期満了に伴う理事の推薦について

2018年度第2回理事会

開催日 2018年6月25日(月) 13:30~13:50
場 所 アークヒルズクラブ(東京都港区赤坂 1-12-32)
議決事項 第1号議案 会長(代表理事)及び理事長(代表理事)、
常務理事(業務執行理事)の選定について
第2号議案 評議員会の招集について

2018年度第3回理事会

開催日 2018年9月25日(火) 13:30~14:10
場 所 六本木ヒルズクラブ(東京都港区六本木 6-10-1)
議決事項 第1号議案 楽器貸与事業に係わる諸規程の改正について
1) 楽器保全規程
2) 楽器貸与規程

2018年度第4回理事会

開催日 2019年3月7日(木) 11:10~12:10
場 所 六本木ヒルズクラブ(東京都港区六本木 6-10-1)

- 議決事項 第1号議案 2019年度事業計画及び収支予算について
付帯決議案
事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する
第2号議案 定時評議員会の招集について

3. 評議員会

本年度は、評議員会を下記のとおり2回開催した。

2018年度定時評議員会

- 開催日 2018年6月25日(月) 11:00~12:20
場 所 六本木ヒルズクラブ(東京都港区六本木6-10-1)
議決事項 第1号議案 2017(平成29)年度事業報告及び決算について
第2号議案 任期満了に伴う理事の選任について
第3号議案 任期満了で退任する常勤役員の退職慰労金の
支払いについて
第4号議案 常勤役員の報酬について

2018年度臨時評議員会

- 開催日 2019年3月7日(木) 13:40~14:30
場 所 六本木ヒルズクラブ(東京都港区六本木6-10-1)
議決事項 第1号議案 監事の選任について
第2号議案 2019年度事業計画及び収支予算について
付帯決議案
事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する

4. 監事会

2018年5月25日 2017年度事業報告及び収支決算の監事監査

5. 登記事項

- 2018年7月9日 代表理事の登記事項変更届(1名削除、1名追加)
理事の変更登記(3名削除、4名追加)
評議員の変更登記(1名削除)
監事の変更登記(1名削除)
2018年10月11日 評議員の変更登記(1名削除)
2019年3月18日 監事の変更登記(1名追加)

6. 主務大臣(内閣府)への届出等

- 2018年6月29日 2017年度事業報告書及び収支決算書提出
2018年7月31日 代表理事の登記事項変更届(代表理事の変更)
登記事項変更届(理事3名削除、4名追加、議員1名削除、
監事1名削除)

2018年10月23日 登記事項変更届(評議員1名削除)
2019年3月26日 2019年度事業計画書及び収支予算書提出
2019年3月28日 登記事項変更届(監事1名追加)

7. 外部監査の実施

本年度も永和監査法人に監査を委託し、期中監査を2019年3月8日に、期末監査を2019年5月24日、27日に実施した。

8. 事務局

事務所を東京都港区赤坂1-2-2日本財団ビル5階に置き、業務を遂行した。
年度末現在の事務局役職員数は常勤役員1名、常勤職員5名、計6名である。

以上

別紙 1

公益財団法人日本音楽財団理事・監事・評議員名簿

(2019年3月31日現在、敬称略)

| | | |
|------|--------|-----------------------------------|
| 会 長 | 海老沢 勝二 | 元 NHK 会長 |
| 常務理事 | 加納 民夫 | 常 勤 |
| 理 事 | 海老澤 敏 | 尚美学園大学大学院名誉教授 |
| 理 事 | 門 野 泉 | (公財)東京財団理事長、清泉女子大学名誉教授 |
| 理 事 | 斉藤 邦彦 | 元駐アメリカ合衆国特命全権大使 |
| 理 事 | 竹内 千春 | 弁護士 |
| 理 事 | 福井 俊彦 | 元日本銀行総裁 (一財)キャノングローバル戦略研究所理事長 |
| 監 事 | 垣 見 隆 | 弁護士 |
| 監 事 | 吉村 貞彦 | 公認会計士 |
| 評議員 | 相川 直樹 | 慶應義塾大学名誉教授 |
| 評議員 | 荒蒔 康一郎 | 元キリンホールディングス(株)会長 |
| 評議員 | 尾形 武寿 | (公財)日本財団理事長 |
| 評議員 | 木 全 ミツ | 認定 NPO 法人 JKSK 女性の活力を社会の活力に 会長 |
| 評議員 | 清原 武彦 | 産経新聞社相談役 |
| 評議員 | 児玉 幸治 | (一財)機械システム振興協会会長 |
| 評議員 | 須磨 久善 | 心臓外科医 |
| 評議員 | 畠山 向子 | (公財)畠山記念館館長 |
| 評議員 | 藤井 宏昭 | 国際交流基金顧問、森アーツセンター理事長 |

委員名簿

(2019年3月31日現在、敬称略)

楽器貸与委員 (欧州・米国・アジアの代表で構成)

| | | |
|-------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 委員長 | 原田 幸一郎 | ヴァイオリニスト、 桐朋学園大学教授、東京音楽大学特任教授 |
| 委員長代行 | カーティス・プライス Curtis Price | 英国王立音楽院副理事長 |
| 委員 | 海老澤 敏 | 尚美学園大学大学院名誉教授 |
| 委員 | 藤原 真理 | チェリスト |
| 委員 | キム・カシュカシヤン Kim Kashkashian | ヴィオリスト、 ニューイングランド音楽院教授 |
| 委員 | アイダ・カヴァフィアン Ida Kavafian | ヴァイオリニスト、 ジュリアード音楽院教授、カーティス音楽院教授 |
| 委員 | イヴァン・デ・ラオノア Yvan de Launoit | ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール 副理事長 |
| 委員 | ジョナサン・ノット Jonathan Nott | 指揮者 |

事業運営委員

| | | |
|-----|--------|-------------------------|
| 委員長 | 川本 統脩 | 洗足学園音楽大学講師 |
| 委員 | 小倉 多美子 | 音楽ジャーナリスト、武蔵野音楽大学講師 |
| 委員 | 金子 建志 | 音楽評論家、東京理科大学講師 |
| 委員 | 齋藤 一郎 | 東京藝術大学名誉教授 |
| 委員 | 柴田 俊一 | 音楽プロデューサー、元 NHK プロデューサー |
| 委員 | 藤掛 廣幸 | 作曲家 |

財団保有楽器の概要

(2019年3月31日現在)

Stradivarius "Paganini Quartet" 「パガニーニ・クアルテット」

1680 Violin 1727 Violin
1731 Viola 1736 Cello

アントニオ・ストラディヴァリ(1644～1737)製作による楽器で構成されたクアルテットは、世界で6セットの存在が知られている。このクアルテットはその1つであり、19世紀の伝説的なヴァイオリニスト、ニコロ・パガニーニ(1782～1840)が所有していたことでも有名である。

当財団は1994年4月にアメリカ・ワシントン D.C.のコーコラン美術館よりこのクアルテットを購入した。同美術館にこのクアルテットを寄贈した米国のアンナ・E・クラーク夫人の意思を受け継ぎ、当財団は4挺を常にセットとして四重奏団に貸与している。

1700年製 Stradivarius Violin "Dragonetti" 「ドラゴネッティ」

このヴァイオリンはネックの部分までも製作当時のものが使用されているとても貴重な楽器である。著名なコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ(1763～1846)によって大切に所有されていたことから現在この名前と呼ばれている。当財団の購入直前には、世界的に名の知られているヴァイオリン奏者、フランク・ペーター・ツィンマーマン(1965～)によって演奏されていた。

2002年6月に当財団が購入したものである。

1702年製 Stradivarius Violin "Lord Newlands" 「ロード・ニューランズ」

イギリスのニューランズ卿(1890～1929)によって生涯大切にされていたため、現在この名前と呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのヒル商会が、1973年にバースの古楽器名器展にて、当時のヒル商会を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン(1920～2001)は、自身が所有しているガエルネリ・デル・ジェスと同じパワーを感じると語ったという。

2002年6月に当財団が購入したものである。

1708年製 Stradivarius Violin "Huggins" 「ハギンス」

このヴァイオリンは、イギリスの天文学者であるウィリアム・ハギンス卿(1824～1910)が、1870年代後半頃、ウィーンの皇帝から購入し、所有していたことから「ハギンス」と呼ばれている。色艶も鮮やかで保存状態に優れている。当財団は1997年よりベルギ

ー・エリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次のコンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

1709年製 Stradivarius Violin "Engleman" 「エングルマン」

このヴァイオリンは、アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約150年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。当財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で収集家のエフレイム・エングルマンが所有していたため、現在はこの名前で親しまれている。

1996年5月に当財団が購入したものである。

1710年製 Stradivarius Violin "Camposelice" 「カンポセリーチェ」

このヴァイオリンは、1880年代にフランスのカンポセリーチェ公爵の手に渡ったことから「カンポセリーチェ」と呼ばれている。1937年にはクレモナ古楽器名器展にキューネ博士のコレクションとして展示された。日本音楽財団が購入する前は、30年間以上ベルギーのアマチュア奏者のもとで大切に保管されていたため、楽器の内側の状態はオリジナルのままである。

2004年9月に当財団が購入したものである。

1714年製 Stradivarius Violin "Dolphin" 「ドルフィン」

1800年代後半にこの楽器を所有していたジョージ・ハートは、光沢の美しい裏板のニスが優美な"イルカ"を思わせることから「ドルフィン」という名前を付けた。音色並びに楽器の保存状態が優れており、1715年製「アラード」、1716年製「メシア」に並ぶ世界3大ストラディヴァリウスの1つと呼ばれている。また、巨匠ヤツシャ・ハイフェッツ(1901～1987)が愛用していたことでも知られている。

2000年2月に当財団が購入したものである。

1715年製 Stradivarius Violin "Joachim" 「ヨアヒム」

この楽器は、有名なハンガリーのヴァイオリン奏者、ヨーゼフ・ヨアヒム(1831～1907)が所有していたストラディヴァリウス1715年製ヴァイオリン5挺の内のひとつである。また、ヨアヒムからヴァイオリンのレッスンを受けていた彼の兄弟の孫娘アディラ・アラニに遺贈されたことから「ヨアヒム=アラニ」という名前でも知られている。日本音楽財団が購入するまでは、アラニ家によって代々受け継がれてきた。

2000年9月に当財団が購入したものである。

1716年製 Stradivarius Violin "Booth" 「ブース」

1855年頃にイギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられている。彼女はヴァイオリンの才能を發揮した2人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクアルテットを形成しようと試み、この楽器を購入した。1931年にアメリカの名高いヴァイオリン奏者ミシャ・ミシャコフ(1896～1981)の手にわたり、1961年にはニューヨークのホットインガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。

1999年1月に当財団が購入したものである。

1717年製 Stradivarius Violin "Sasserno" 「サセルノ」

1845年からフランスのサセルノ伯爵が所有していたことからこの名前と呼ばれている。1894年にはヴァイオリン奏者のオットー・ペイニガーが所有し、その後にイギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスの手に渡った。1906年にはイギリスの産業資本家ヘンリー・サマーズが所有し、それ以後90年以上にわたり同家で大切に保管されていたため、製作時のままのニスが多く残っており保存状態が非常に優れている。

1999年5月に当財団が購入したものである。

1722年製 Stradivarius Violin "Jupiter" 「ジュピター」

このヴァイオリンは、1800年頃にイギリスの偉大なコレクター、ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。この楽器は大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナル・ニスも全体に十分残っている。

1998年5月に当財団が購入したものである。

1725年製 Stradivarius Violin "Wilhelmj" 「ウィルヘルミ」

1866年以降、約30年間この楽器を所有していた著名なドイツのヴァイオリン奏者、オウグスト・ウィルヘルミ(1845～1908)に因んでこの名前が付けられた。ウィルヘルミの所有していた数多くのヴァイオリンのうち最も愛用されていた楽器だったが、「演奏者として華のあるうちに引退したい」との理由で、50代の若さで楽器を手放したという。

2001年6月に当財団が購入したものである。

1735年製 Stradivarius Violin "Samazeuilh" 「サマズィユ」

このヴァイオリンは、20世紀の初めにフランスのサマズィユ家が所有していたことから「サマズィユ」と呼ばれている。その後、1923年に楽器を所有することになったヴァイオリンの巨匠ミッシェル・エルマン(1891～1967)は「ストラディヴァリウスの中で最高の音色を持つ楽器の1つ」と1926年に手紙に記している。楽器内側に貼られたラベルには91歳(製作者の年齢)と書かれている。

岡本ご夫妻のご寄付と日本財団からの助成を合せて、2017年8月に当財団が購入したものである。

1736年製 Stradivarius Violin "Muntz" 「ムンツ」

楽器内側に貼られたラベルにはストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92(92歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスに楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874年以降、英国の収集家ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器のひとつとして知られている。

1997年7月に当財団が購入したものである。

1696年製 Stradivarius Cello "Lord Aylesford" 「ロード・アイレスフォード」

アマチュア奏者として有名であったイギリスのアイレスフォード卿が1780年代初期にイタリアの名高いヴァイオリン奏者フェリーチェ・デ・ジャルディーニ(1716～1796)から購入し、その後アイレスフォード家に約100年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946年にはアメリカ・フィラデルフィア在住の世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー(1903～1976)の手に渡り、1950年から1965年には巨匠ヤーノシュ・シュタルケル(1924～2013)によって演奏会や35枚のレコーディングのために使用された。

2003年6月に当財団が購入したものである。

1730年製 Stradivarius Cello "Feuermann" 「フォイアマン」

アントニオ・ストラディヴァリが製作したうち、現存するチェロは、約50挺といわれている。「フォイアマン」は普通のチェロと比べ、楽器本体の部分が細長い点の特徴である。1934年から世界的に著名なチェロ奏者、エマヌエル・フォイアマン(1902～1942)が長年にわたり演奏活動に使用したことから、この名前と呼ばれている。エマヌエル・フォイアマンは斎藤秀雄が師事したこともあり、日本でもよく知られている。

1996年12月に当財団が購入したものである。

1736年製 Guarneri del Gesù Violin "Muntz" 「ムンツ」

アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・グアルネリ(グアルネリ・デル・ジェス)(1698～1744)が製作したヴァイオリン。イギリスの収集家ムンツが一時期所有していたことから、この名前が親しまれている。当財団はストラディヴァリとデル・ジェスによって同じ1736年に製作された2挺の「ムンツ」を保有しており、それぞれの楽器の音色の特色を聴き比べるために、両方の楽器を使用したコンサートを開催している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

1740年製 Guarneri del Gesu Violin "Ysaye" 「イザイ」

この楽器はベルギーの国家的ヴァイオリン奏者、ウジェーヌ・イザイ(1858～1931)が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中には小さなラベルが貼られ、赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ 1928」とフランス語で書かれている。イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進した名器としても知られている。その後、1965年に巨匠アイザック・スターン(1920～2001)の所有となり愛用された。1998年3月に当財団がスターンから購入した。

以上、当財団はストラディヴァリウス・ヴァイオリン 15 挺、ストラディヴァリウス・チェロ 3 挺、ストラディヴァリウス・ヴィオラ 1 挺、グアルネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン 2 挺の合計 21 挺の弦楽器を保有している。

楽器名と被貸与者一覧

別紙 4

2019年3月31日現在

| 楽器名 | 被貸与者 | 備考 |
|-----|------|----|
|-----|------|----|

貸与区分A(貸与期間満7年以内), B(貸与期間満3年以内)、貸与期間6ヶ月以上(旧長期貸与)

| | | | |
|----|--|---------------------------|--|
| 1 | Antonio Stradivari 1700 Violin "Dragonetti" | Veronika Eberle | ベルリン在住 |
| 2 | Antonio Stradivari 1702 Violin "Lord Newlands" | Suyoen Kim | ベルリン在住 |
| 3 | Antonio Stradivari 1709 Violin "Engleman" | Benjamin Beilman | フィラデルフィア在住 |
| 4 | Antonio Stradivari 1710 Violin "Camposelice" | Svetlin Roussev | パリ在住 2012/1/15-2/8 Joachim 貸与 2012/2/8 よりCamposelice 貸与 |
| 5 | Antonio Stradivari 1714 Violin "Dolphin" | 諏訪内晶子 | パリ在住 |
| 6 | Antonio Stradivari 1715 Violin "Joachim" | Ray Chen | フィラデルフィア在住 2009年エリザベートコンクール優勝者Huggins 貸与 (2009/6/2-2010/9/8) 2012/4/11よりLord Newlands 貸与 2014/6/19よりJoachim 貸与 |
| 7 | Antonio Stradivari 1716 Violin "Booth" | Arabella Miho Steinbacher | ミュンヘン在住 2005/5/6よりStrad. Muntz 貸与 2006/9/4よりBooth 貸与 |
| 8 | Antonio Stradivari 1717 Violin "Sasserno" | Ji Young Lim | ベルリン在住 2015年エリザベートコンクール優勝者Huggins 貸与 (2015/6/2-2019/3/28) 2019/3/28よりSasserno 貸与 |
| 9 | Antonio Stradivari 1722 Violin "Jupiter" | 五嶋 龍 | ニューヨーク在住 |
| 10 | Antonio Stradivari 1736 Violin "Muntz" | Yuki Manuela Janke | ドレスデン在住 |
| 11 | Antonio Stradivari 1696 Cello "Lord Aylesford" | Pablo Ferrández | トレド・ネス(スペイン)在住 |
| 12 | Guarneri del Gesu 1740 Violin "Ysaye" | Sergey Khachatryan | エッショホルン(ドイツ)在住 2005年エリザベートコンクール優勝者Huggins 貸与 2009/4/7よりLord Newlands 貸与 2010/10/27よりYsaye 貸与 |

(貸与終了後保管中)

| | | | |
|----|---|--|--|
| | Antonio Stradivari "Paganini Quartet" | | |
| 13 | Violin 1680 | | |
| 14 | Violin 1727 | | |
| 15 | Viola 1731 | | |
| 16 | Cello 1736 | | |
| 17 | Antonio Stradivari 1730 Cello "Feuermann" | | |

貸与区分C(貸与期間満1年以内)

| | | | |
|----|---|------|---------------------|
| 18 | Antonio Stradivari 1725 Violin "Wilhelmj" | 加野景子 | ニューヨーク在住 CD録音のため |
| 19 | Antonio Stradivari 1735 Violin "Samazeuilh" | 竹澤恭子 | パリ在住 30周年記念公演のため |
| 20 | Guarneri del Gesu 1736 Violin "Muntz" | 渡辺玲子 | 東京在住 CD録音のため |

貸与区分D(ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者への次期コンクール開催までの貸与)

| | | | |
|----|--|--|-------------------------|
| 21 | Antonio Stradivari 1708 Violin "Huggins" | | 2019/5/28にコンクール優勝者へ貸与予定 |
|----|--|--|-------------------------|

AB区分12挺、貸与終了後保管中5挺、C区分3挺、D区分1挺 現在保有楽器 計21挺

楽器貸与区分及び申請条件等一覧表

2018年9月25日改正

| 区分 | A | B | C | D |
|-----------|--|---|--|-----------------------------|
| 期間 | 満7年以内 | 満3年以内 | 満1年以内 | 次期コンクール開催時まで |
| | ※区分 A、B、D の貸与期間は合算で満7年以内とする。 | | | |
| 貸与楽器配分の目安 | 保有楽器数の70% | 保有楽器数の15% | 保有楽器数の10% | 保有楽器数の5% |
| 申請条件 | <ul style="list-style-type: none"> 申請年の9月1日時点で35歳以下の者(クアルテットは、4名の平均が40歳以下) 貸与申請書一式提出 <p>※Bとの同時申請可能</p> | <ul style="list-style-type: none"> 日本を拠点に演奏活動している者 申請年の9月1日時点で35歳以下の者(クアルテットは、4名の平均が40歳以下) 貸与申請書一式提出 <p>※Aとの同時申請可能</p> | <ul style="list-style-type: none"> 具体的な演奏活動の目的がある者(例:デビュー公演・周年記念公演・レコーディング・コンクール等) 貸与申請書一式提出 | エリザベート王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝 |
| 再申請 | <ul style="list-style-type: none"> 貸与期間が満7年に達していない場合、貸与期間中に区分 A 又は B からすべての区分へ再申請を行うことができる。 貸与期間が満7年に達していない場合、貸与期間中に区分 C から区分 A 又は B へ再申請を行うことができる。 区分 C の貸与を受けた者が同じ区分 C へ再申請を行う場合、貸与終了日を起点として満2年以降可能とする。 貸与期間が満7年に達した者が区分 C へ再申請を行う場合、貸与終了日を起点として満2年以降可能とする。 すでに貸与を受けている者が異なる区分で再申請を行う場合、申請する区分の申請条件をすべて満たさなければならない。 | | | |
| 貸与決定方法 | 楽器貸与委員会を経て 会長決裁 | | 会長決裁 | |

※ 楽器貸与区分等改正時において、既に貸与期間上限の7年を超えている被貸与者は、演奏活動に支障が出ないように相談の上、楽器の返却時期を決めている。

上記のとおり2018(平成30)年度事業報告書及び附属明細書を提出いたします。

2019(令和元)年6月5日

公益財団法人 日本音楽財団

会 長 海 老 沢 勝 二



2018(平成30)年度事業報告書及び附属明細書を監査した結果、適正かつ妥当であると認めます。

2019(令和元)年6月5日

監 事 垣 見 隆



監 事 吉 村 貞 彦

